



Kumamoto City

News Release

平成29年11月 8日

熊本駅白川口駅前広場計画について

1 今回の発表について

今回は、熊本駅白川口駅前広場計画について発表いたします。

2 熊本駅白川口駅前広場の内容について

- 白川口駅前広場について、県からの事業引継ぎ後、各交通施設の配置計画を見直すとともに、JR開発構想の具体化、熊本地震の発生などにより、当時と大きく情勢が変化しました。
- このような情勢の変化を踏まえ、完成形整備にあたり、駅前広場の新たなコンセプトを打ち立て、昨年度末に駅前広場の空間的な機能配置の方針（ゾーニング）を策定しました。
- その後、バス及びタクシー事業者、JR九州、県警等と協議を重ねた結果、この度、駅前広場のレイアウト案を策定しました。
- 駅前広場のシェルター（上屋）についても、情勢の変化を踏まえ、既存大屋根を解体する方向で、配置やデザインを見直すことといたします。
- 今後は、熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議や熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会、オープンハウス等を実施して、市民や利用者等の意見を反映させながら設計を進めていきます。
- 今年度中には駅前広場の実施設計を終了させて完成イメージを公表、来年度から現JR駅舎の解体にあわせて拡張整備に着手、平成31年度末に供用開始、熊本駅新ビルの開業にあわせて平成32年度中の完成を目指すこととしています。

3 新たなコンセプト

- 機能的かつ開放的な空間
サブターミナル、交通広場等の機能を分担するとともに、出来る限り広場空間を確保し、賑わい・交流を演出
- 災害時の広場機能の確保
避難場所、復旧・支援活動の拠点として活用
- 連続的で快適な動線
各交通機関の乗降場まで雨に濡れない、明るい動線を確保

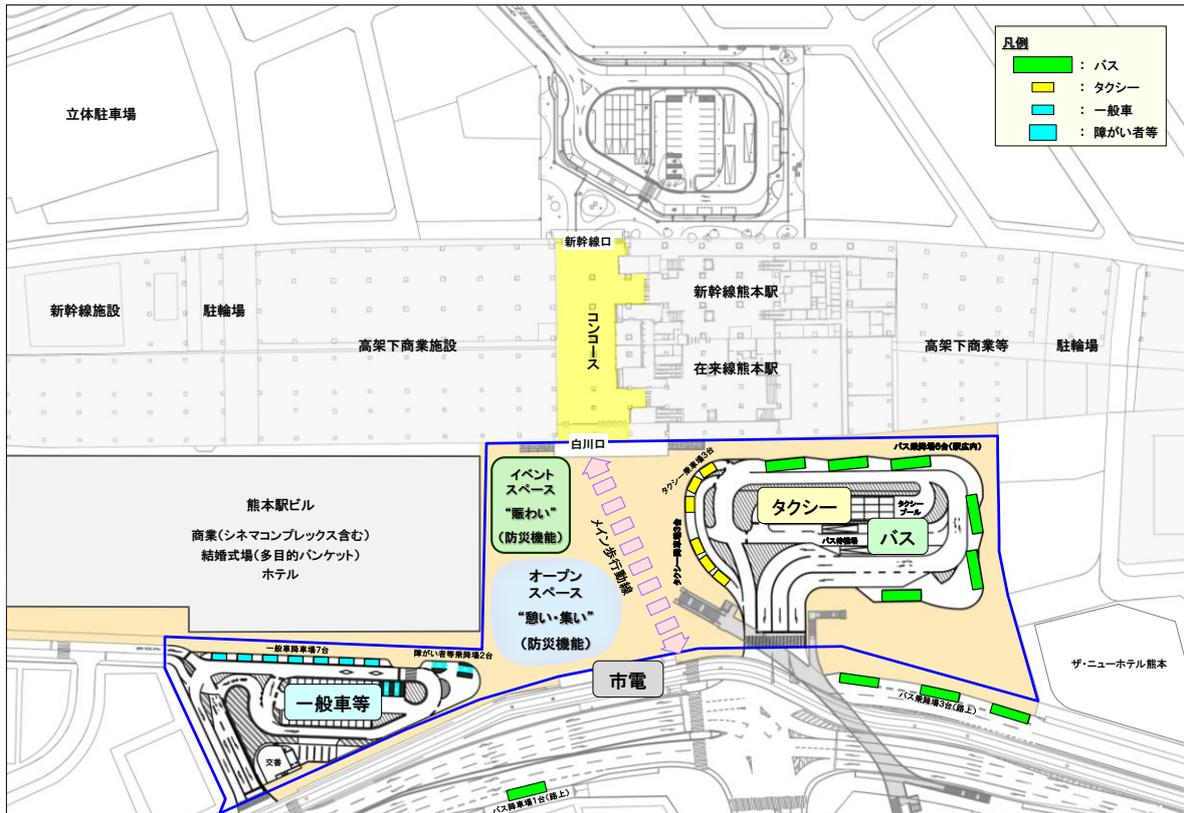
➤ 駅舎、駅ビルとの調和

景観的調和、駅ビル・駅舎に対する視点場への配慮

➤ くまもとらしさの表現

県産木材の配置、水と緑による「くまもとらしさ」の演出

4 熊本駅白川口駅前広場レイアウト（案）



■ 熊本駅周辺整備スケジュール(案)

